

広報

しんち 12

1994.No282



期待をこめて
「エイー！」

(産業まつり会場で 関連記事P14)

ルポ 高橋政孝さんの場合

障害を乗り越え地域と共に生きる



▲奥さんの久子さんと散歩を楽しむ政孝さん

人はだれもが老齢になり、程度の差こそあれ障害者の状態を経験します。さらに私達は日々、事故や災害など危険にさらされて生きています。

高橋政孝さん（四十歳・小川）は六年程前、事故に遭い車いすの生活を余儀なくされました。

「障害をもつ人もそうでない人も、同じ人間として共に生き、共に暮らす社会こそノーマル（正常）である」。

一九五九年にデンマークで生まれた「ノーマライゼーション」の理念は、いま世界中に広がりを見せています。

今回は、高橋さんの体験を通じて障害福祉を考えてみたいと思います。

周りの人の愛に支えられ

事故のあった日から五年九ヶ月の歳月が流れた。

政孝さんは、車いすで近道を散歩したり、買い物、そして時にはパチンコ店にも出かけるようになった。毎週リハビリ訓練にも通う。外出先での一番の心配はトイレだと言う。車いすで入れる場所はまだまだ限られている。

政孝さんは、「ここまで回復したのも家族の協力はもちろんですが、周りの人の心づかいが大きかった」と話す。

近所の人たちが遊びにきてくれる。車いすで歩いていると、「おはよう。今日はどこにいくんだい」と気軽に声をかけてくれる。以前と同じように接してくれる。それがとても嬉しく感じると言う。

十一月に入って、政孝さんの元に一通の手紙が届いた。中学校の同級会の案内状だった。卒業以来二十五年も会っていない恩師や同級生の顔がなつかしく思い出された。「会いたい。しかし」。案内状を手にとり、政孝さんは思案顔だった。

半身不随も笑顔が戻る

久子さんと母親のツネさんが交替で病院に泊まりこみ、政孝さんの介護にあたった。

一年半後、ようやく政孝さんは退院が許され自宅に帰ってきた。初めは何の気力もなく、ただボンヤリと過ごしていた政孝さんだんだんよくなってきた。車いすで歩けるようになった。政孝さんに笑顔が戻ってきた。

久子さんは当時を振り返り、「（夫の事故を自分に）予期するものがあつたら止められたのに、と何度も考えました。そして、「夫がそうなれば」一生懸命看護しようとするのはだれでもそうですよ」とつけ加えた。政孝さんは、久子さんの話にじつと耳を傾けて

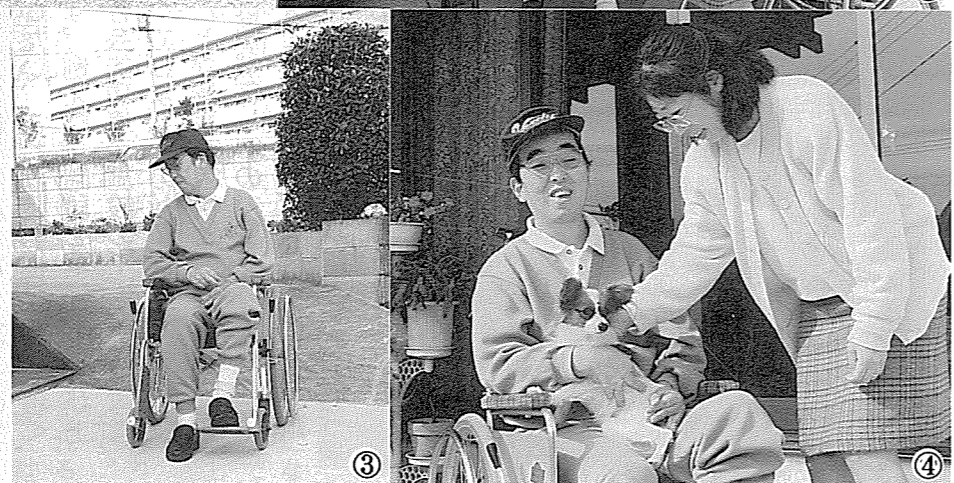
職場での事故で意識不明の重体

平成元年二月八日、高橋政孝さんは当時、原町市内のあるスーパーに勤めていた。その日は棚卸しだった。早めに棚卸しを終え政孝さんは一人で脚立に上り、二階の窓ふきを始めた。体を伸ばし窓をふこうとした時、バランスをくずし頭からコンクリート床に叩きつけられた。

すぐに救急車で病院に運ばれた。同じ市内の特養ホームで療養をしている奥さんの久子さんが、救急車のなかで、「政孝さん！しっかりして、政孝さん！」と呼び続けた。政孝さんは、苦しうに「ウーン、ウーン」と唸り声をあげのたうち回った。

病院で政孝さんの容体を診察した医師は、久子さんや家族を前に、「急性硬膜外血腫」及び「脳挫傷」と告げた。そして、「全力を尽くしますが、植物人間になるかも知れませんが」。覚悟をしておいてください」とつけ加えた。

久子さんの脳裏に、夫の死がよぎった。涙がとめどなく流れた。それが結婚三年目の出来事だった。



写真説明

- ①久子さんと散歩に出かける途中、近所の子供に気軽に声をかける政孝さん。
- ②自分で車の助手席に乗り込む。まだ少し時間がかかるようだった。
- ③自宅の庭をリハビリを兼ね車いすで歩く。
- ④家族みんなでかわいがっている「ミニー」とたわむれる。

年をとればだれもが何らかのハンディを負う!!

障害福祉は社会を変える

障害をもっている人たちにもなんとか「ふつうの生活」を送ってもらいたい、これが障害福祉の行く着くところだと思えます。例えば、階段を車いすの人が上がれないように、社会的環境や施設の中には、障害者にとって「壁」となってしまうものがあります。「ふつうの生活」を送ることが最高の目標となるほど障害をもつ人を困む状況は依然厳しいのです。

高齢化社会を迎え、年をとればだれもが何らかのハンディを負うことになるからこそ、障害の問題にもっと関心を持つ必要があると思えます。

障害者及び老年人口等調べ

	人数等 (人、世帯)	内訳 (人)	率 (%)
人口	9,076	男4,453 女4,623	
世帯	2,290		
身体障害者	415	男 207 女 208	4.6
心身障害者	40	男 23 女 17	0.4
寝たきり老人	34	男 15 女 19	0.4
一人暮らし老人	87	男 10 女 77	1.0
老人人口	1,881	男 782 女 1,099	20.7
老人世帯	67		2.9

(町・社会福祉協議会調べ、11月1日現在)

障害をもつ人は町内に455人

人口九千人のわが町には、四百十五人の人が身体になんらかの障害をもっています。施設での治療やリハビリに取り組んだり、職場のなかで障害と日々戦いながら暮らしています。

また、知的障害者は四十人の人がいます。ほとんどの人が施設や病院に入っています。が、十数人の人は家族と共に暮らしています。

心身に障害をもつ人は、単純に計算しても町民二十人に一人という計算になります。障害をもつ人の多くは先天的な障害よりも交通事故、労働災害などの不慮の事故や病気が原因で障害をもつ人が多

街に出ることは大きな喜びだが

高年齢化社会がその拍車をかけています。街に出ることは大きな喜びです。しかし、そのためには

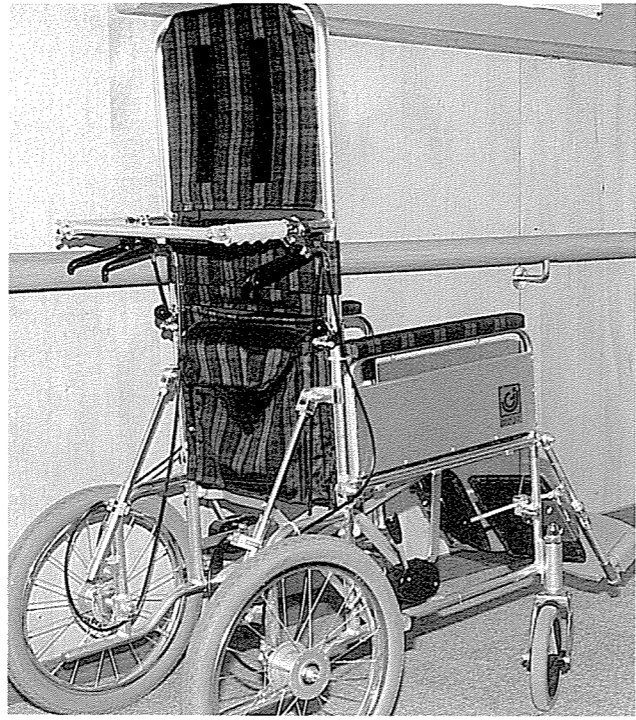


▲新地ホームで「リハビリの集い」を開催

公共施設や店舗などに、障害をもつ人が利用しやすい設備や配慮がなされていなくてはなりません。町でも新しくつくる施設にはスロープ、専用トイレなどの設備、また、町民の要望の多かった特別養護老人ホーム、デイサービスセンターを建設するなど福祉の施策を進めてきました。さらに今後は、保健福祉センターの建設を予定しています。

障害児は大人になり親は老齢になる

しかし、障害をもつ人に対する誤解、偏見といった、いわば「人権の問題」については、私たちはもっと考える必要があります。知的障害の子をもつA子さ



んは、「この子がいたからこそ頑張ったけれど、人間として成長した面もあると思えます。しかし、一言で言えば大変なことですよ。ポツリとつぶやきます。

子供が相馬市の養護学校に通学していたころ、A子さんは子供とバスに乗り、後の方でようすを見ていて、乗客の何げない言葉にひどく傷ついたり、運転手さんの一言が涙が出るほど嬉しく感じたことがあったそうです。

「子供を街のなかでのびのびと遊ばせてあげたくとも、周りの目が気になってなかなか出来ない。でも、仲間みんな

なが街に出れば、そう気にならな。手をつなぐ親の会です。そこから始めたい」と話します。やがて障害児も大人になります。親は老齢になります。そのとき、安心していられる社会であってほしい、これは障害をもつ親の切なる願いなのです。

すべての人々が共に生きる社会

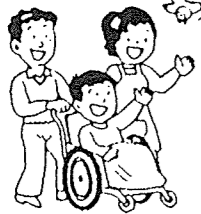
障害をもつ人の問題を考えるうえで大切なことは、障害をもたない人も自身自身の問

題として考え、理解することです。そのためには、障害をもつ人と持たない人の交流、心のふれあいが大切です。そして、それを継続していくことこそが最も重要です。

最近、福祉関係のボランティアをしたいという人が多くなってきました。障害者などハンディキャップをもった人たちを単に同情やあわれみの対象とするのではなく、社会の一員としてあたりまえの生活をおくる支援をすることこそが福祉活動だと考え、実践する人が増えてくれば、地域社会も変わっていきます。

社会環境が十分に整備され、障害をもつ人が不自由さを感じないですむとしたら、社会的には必ずしも「ハンディのある人」ではなくなります。みんなが一緒に暮らせる社会づくり—それは障害をもたない人が障害をもつ人に対して、理解を深めることから始まるのではないのでしょうか。

ともに生きよう



手をつなぐ親の会

クリスマス会などで交流会



昨年開かれたクリスマス会。参加者は食事やゲームで交流を深めながら楽しいひとときを過ごしました。

知的障害児をもつ親らが悩みを語り合い、助け合うことを目的に、「新地町手をつなぐ親の会」は、平成二年三月、会員三十五人でスタートしました。相馬郡内では二番目の組織化でした。

親の会では総会、各種大会参加をはじめ、障害をもつ子供の施設などの視察研修。町敬老会では施設で作られた「干しいたけ」の販売、クリスマス会などを開いてきました。

悩みは、参加者が少ないこと。社会福祉協議会事務局の門馬美恵子さんは、「参加人数が少なく活動が停滞して悩んだ時もありましたが、会員の方から『せっかくなので会なのだから、一人でも二人で

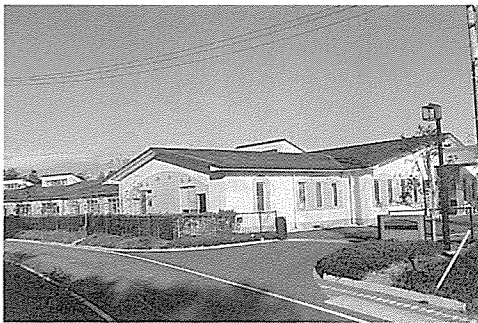
もいからやっつけていこうよ』と逆に励まされたこともあり、この世に生を受けた限り、人は人として障害のあるなしにかかわらず、生きていく権利があります。地域のみんが支え合い、お互いに育ち合えなければ、ノーマライゼーションの実現は難しいと思います。人の悩みや苦しみを共有、共感することからまず始めなければと考えています」と話していました。

十二月には親の会で、恒例のクリスマス会が開かれます。後日、ご連絡をさし上げますので、積極的な参加をお願いします。

町社会福祉協議会 ☎ 4213

インタビュー

特別養護老人ホーム
「新地ホーム」
加藤邦昭施設長に
聞く



▲デイサービスセンターを併設「新地ホーム」

「特別養護老人ホーム「新地ホーム」の状況をお聞かせください。
加藤 生きがいを持ち、安心して生涯を過ごすことのできる町づくりの一環として誕生した「新地ホーム」ですが、試行錯誤の繰り返しながらも、皆さんのご協力に支えられて開設一年八カ月になりました。職員全員で介護内容の改善充実を図るための委員会をつくり、特色あるホームづくり

に意欲を燃やしておりますので、皆さんのご支援をお願いします。
平成五年度一年間に利用者を除く新地ホームを訪れた人は、七千六百六十九人に達しました。内訳は、ボランティアの皆さんが千一人、慰問が三十五団体、個人で八百二十八人、視察は五十二団体で千七十三人、利用者の家族知人の訪問は四千七百六十七人でした。



◎加藤邦昭さん

昭和2年生まれ、昭和25年から昭和61年まで役場に勤務し、その間、住民課長などを歴任、福祉行政に携わる。施設長2年目。岡地区。

《新地ホームの概要》

運営主体	社会福祉法人しんち福祉会
設置場所	新地町小川字川向18番地
収容定員	70人(内ショートステイ20人)
敷地面積	13,441平方メートル
構造	鉄筋コンクリート造平屋建
床面積	2,630.56平方メートル
総事業費	11億4,400万円

高齢化社会を迎えてこの施設がいかに注目され、また、地域にとっていかに必要であるかを痛感しております。ボランティア団体の支援はどうなっていますか。
加藤 社会福祉協議会にはボランティア協議会があり、従来から町内の寝たきり老人などのために福祉サービスを行ってきました。新地ホームが新設され、ありがたいことにボランティアの申し込みがあり、現在、社会福祉協議会でまとめあげた、福田・新地・駒ヶ嶺の女性二百九十人が「特老ボランティア」として登録をいただいております。毎日二時間ほど、おむつたたみや

在宅福祉支援の拠点となる施設を目指す

掃除などの奉仕をしていただいています。
また、新地高校家庭クラブ、JAすずらん二十人、第二回町民の翼団員「れまんの会」十八人の皆さんが定期的に奉仕をいただいております。
老人クラブ、民生委員、小川地区、相馬理容組合婦人部の皆さん、その他たくさんの方々の協力に感謝をしているところです。
「高齢化社会の到来で、在宅介護が大きな課題となっておりますが、今後ますます高齢化が進むので、在宅福祉を考えないで施設入所がすべてということになれば、きわめて危機的な状況になります。
新地ホームとしては、施設としての専門的な機能や設備、ヒューマンパワーを生かして、地域に身近な存在として、在宅福祉を支援する拠点の役割を果たさなければと考えています。
「今後の福祉サービスのあり方について、施設長さんの考えをお聞かせください。
加藤 老人になるということは、日々失うものが多く、社

会から疎遠になる人もでてきます。また、家族との折り合いも難しくなってしまう人、配偶者に先立たれたり、仲良しの友達と会えなくなったり、だんだん孤独感にさいなまされるようになる人もいます。
福祉の考え方は、以前は低所得者に視点を合わせていましたが、医療、年金などの生活保障が充実してきており、今は所得に関係なく、介護が必要であれば、何時でも、どこでも福祉サービスが受けられる、そういう考え方に変わってきています。
また、家庭で介護するためには、福祉サービスを受けた人のネットワークづくりや、介護を受けている人たちが社会生活を送られるように援助するグループ活動が必要になってきます。
究極の目的は、福祉サービスを必要とする人々が、福祉サービスを必要としない人々と一緒に、同じ社会生活を送ることができるようになることではないかと。
「今日は、貴重なご意見をどうもありがとうございました。」

会場に笑いがいっぱい

第一回デイサービスセンター大運動会

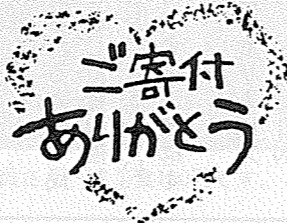


▲口に割りばしを加え輪を次に送る「素早くゆっくり送りましょう」

秋も深まりゆく十月十三日、勤労青少年ホームでは、第一回デイサービスセンター大運動会が開かれました。会場には大段幕や小旗が張られ、軽快な音楽がムードを盛り上げます。
機能訓練と親睦を兼ねて開かれたもので、利用者七十六人のうち、五十四人が参加。寝たきりのお年寄りも参加し、付き添い人、デイサービスセンター職員、町職員、保健婦、JAすずらん、れまんの会など約百人が集い、楽しく競技を行いました。

機能訓練と親睦
兼ねて百人参加

準備体操を行い競技を開始。口に割りばしをくわえ、輪を次々と送る「素早くゆっくり送りましょう」、カードに記入されている服装に着替える「こんなのになりたかったでしょう」、「紅白玉入れ」などリハビリを兼ねて五種目の競技を行いました。
車いすの参加者らは楽しい運動で懇親を深めたほか、お昼には弁当と芋煮を味わいました。



- 教育振興基金へ
 - ・故横山鉄衛さん(明地)のご遺志として横山信さん(明地) 10万円
 - ・村井流新竜会 3万円
- 地域福祉基金へ
 - ・故竹沢キクエさん(釣師)のご遺志として竹沢正之さん(釣師) 10万円
 - ・町建築業組合産業まつり出店者一同 3万4,800円
- スポーツ振興基金へ
 - ・創立15周年記念として町少年野球連盟 9万2,073円
- 一般寄付金へ
 - ・長堀守弘さん(東京都) 10万円
- 社会福祉協議会へ
 - ・故目黒正義さん(木崎)のご遺志として目黒浄さん(木崎) 3万円
 - ・故伊藤義信さん(釣師)のご遺志として伊藤昭子さん(釣師) 5万円
- 特養ホーム「新地ホーム」へ寄付・慰問
 - ・鈴木ユキ子さん(大戸浜) バナナ多数
 - ・(旬)アサヒ写真(小川・代表) 加藤孝夫さん タオル、洗剤多数
 - ・鈴木シツカさん(菅谷) 2,100円
 - ・荒つやこさん(作田) 手製布袋・枕多数
 - ・杉目婦人会と有志(杉目) バスタオル・タオル多数
 - ・岡若妻会6人 花束多数
- ▽ボランティア
 - ・特老ボランティア(福田・新地・駒ヶ嶺の女性の皆さん) 19回 39人
 - ・JAすずらん 1回 2人
 - ・れまんの会 1回 4人
 - ・新地高校家庭クラブ 1回 11人
 - ・駒西老人クラブ(29人) 草むしり、タオル、踊り

■特集 ボランティア活動

まだ小さな芽、でも町を変える力に

各地でボランティア活動が高まりを見せています。「特別な気持ちではない、自分ができる範囲でしているだけ！」そんなつぶやきが聞こえてきます。今は小さな芽でも、いつか町を、社会を変える力がボランティアにはある。その一部を紹介します。

一人暮らしお年寄り 集合給食サービス



▲民生児童委員協議会女性部の皆さんが心のこもった手料理を作る

社会福祉協議会による一人暮らしのお年寄り集合給食サービス「ふれあいの集い」が十一月十六日、老人憩いの家で開かれ、お年寄り三十人が参加しました。

町のバスで送迎され、輪投げや新聞紙を使つてのゲームを楽しみました。

この日は民生児童委員協議会女性部（部長・佐藤テイ子）九人が、午前八時に農業後継者センターに集合。手作りのメニューは、まぜご飯、煮魚、凍み豆腐・シイタケ・黒イモ・コンブ入りの煮物、漬物、みそ汁にフルーツがついた豪華版。参加者らは、談笑しながら心のこもった料理を味わいました。

申し込みは 民生委員さんへ

この集合給食サービスは、町ボランティア連絡協議会、



▲談笑しながら料理を味わう参加者

町赤十字奉仕団、町民生児童委員協議会女性部、町更生保護婦人会、町食生活改善推進委員会、JAすずらんが料理づくりを分担して二月まで年間十回行われます。

参加を希望される方は、民生委員さんを通じて社会福祉協議会にお申し込みください。参加費は無料です。（☎213）へ。

●今後の集合給食サービス
1月18日(水)・2月15日(水)



▲申し込みは民生委員さんへ。1食100円です。

一人暮らし宅へ 「真心弁当」宅配

社会福祉協議会では、平成元年六月からバランスのとれた食事の提供とふれあいを目的に、給食サービスを行っています。町内に住む六十五歳以上の一人暮らしのお年寄りのうち希望される方に年十回給食を届けています。

弁当作りは丸藤食堂に委託、午前十一時ごろ社会福祉協議会に届けられ、JAすずらんのみなさんが、三地区の民生委員さんに配達します。お昼前には、各地区の民生委員さんからお年寄りにおいしいお弁当が届けられます。給食サービスは、一食百円です。希望される方は、各地区の民生委員さんを通じて、町社会福祉協議会へお申し込みください。

在宅介護活動も



遠藤節子さん(新町)

寝たきりなどのお年寄りをかかえた時のことを考え、三級ヘルパーをとろうというこゝとで始めました。すでに二十人がその資格をとり、「JAすずらん」を中心に活動しています。今は新地ホームなどの施設を主に活動していますが、町に登録ヘルパー制度ができた在宅介護などもしていけたらと思っています。

新地高校 家庭クラブ 特養ホームで 奉仕活動

新地高校（佐藤恒雄校長）の家庭科生徒約二百人でつくる家庭クラブ（菅野悦子会長）三年が、特養ホーム「新地ホーム」を隔週土曜日に訪れ、ボランティア活動を行っています。



▲洗濯物をたたむ家庭クラブ員

十一月六日(土)、授業が終わった午後、先生、家庭クラブ員十人、一年男子五人の十六人が「新地ホーム」を訪れ、ボランティア活動を行っています。



▲男子生徒は廊下やトイレ掃除を担当

キバキと廊下やトイレの清掃、おむつたたみなど約一時間半にわたり、奉仕をしました。同家庭クラブは、昭和二十八年の発足以来、家庭科で学んできた実践することを目的に、一人暮らしお年寄りを訪問し、手作りのプレゼントを贈ったり、年賀状などで交流を続けてきたほか、国立療養所宮城病院の重度心身障害病棟・あすなろ病棟や新地ホームで奉仕活動が続けてきました。

日本善行会から 県で一校 善行表彰

長年のボランティア活動が認められ、今年五月に日本善行会（会長・鈴木俊一東京都知事）から善行表彰式社会福祉部門で県内ただ一校、表彰を受けています。

こんにちは保健婦です

骨粗しょう症を 予防しよう

斎藤洋子保健婦

寒さが日毎に厳しくなってきました。戸外で運動する機会もだんだん少なくなり、運動不足になりやすい季節です。運動不足はさまざまな成人病を呼びおこす大きな原因のひとつですが、「骨粗しょう症」もその中にはいります。骨粗しょう症とは骨がもろくなる病気のことをいい、骨折などしやすい状態になります。

この病気を予防するにはどうすればよいでしょうか。○カルシウムをたくさんとりましょう。

日本人の成人の一日に必要なカルシウム量は六〇〇ミリグラムとされています。牛乳一本二〇〇ミリグラムと二〇〇ミリグラムの

カルシウムがとれます。野菜や果物、豆類などからもとれますが、牛乳・乳製品のほうがカルシウムの吸収率がよいので、積極的にとってほしいと思います。牛乳が苦手という方には、「スキムミルク」をおすすめします。

脂肪分が少ないのでコレステロールが気になる方にも最適です。

○運動をしよう。

運動は骨の量の減少を防ぐ効果があります。どんな運動が効果的かというと、身体に荷重のかかる運動をすすめます。ただし急に激しい運動をはじめたりしないように注意しましょう。散歩、早歩きなど全体を使うような運動を規則的に行うことがよいでしょう。

○日光浴も効果的

カルシウムの吸収を促進する代表選手が「ビタミンD」です。食物からも「ビタミンD」はとれますが、適度に日光にあたることは「ビタミンD」の確保を容易にします。

十二月二日から二月六日まで、二十八会場で「地区健康相談会」を行います。今回は、この骨粗しょう症予防をメインに行いますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

長年の功績たたえ町功労者表彰



▲喜びの受賞者のみなさん



(敬称略)

平成六年度新地町功労者表彰式は、十一月二日、町農村環境改善センターで行われ、産業振興功労など、三人が表彰されました。荒町長が式辞を述べた後、三人に表彰状、太田弘さんら三十七人、五団体に、感謝状を手渡しました。寺島洵一町議会議長が祝辞を送り、受賞者を代表して川上進さんが謝辞を述べました。受賞された皆さん、おめでとうございました。

産業振興功労

川上 進さん(63歳・杉目)

多年にわたり、農林種苗農業協同組合理事及び組合長として活躍し、技術の研さん、機械の導入による経営の合理化を進めるなど、山林用苗木・造園用緑化木生産の振興に寄与されました。

社会福祉功労

水品寛子さん(68歳・釣師)

多年にわたり保健補導員として町民の衛生思想の普及啓蒙に努めるとともに、婦人会



▲感謝状の贈呈

会長、婦人消防隊長として活躍し、現在も社会福祉協議会理事、民生児童委員として保護指導活動に精励し、社会福祉の増進に寄与されました。

教育文化功労

斎藤 研さん(55歳・埼玉県川越市)

中央画壇で活躍中の画家の最新力作を展示した「現代の絵画展」を開催するにあたり、多大のご尽力をたまわり、平成元年には油絵を寄贈するとともに、版画教室を開設するなど、本町教育文化の振興に寄与されました。

文化祭



日ごろの練習の成果を発表



みごとな作品をずらりと展示



笑いを誘った吉沢勲氏の福祉講演

町出身者の体験に学ぶ 小中で教育講演会

今年も町出身者による教育講演会が十月から十一月にかけて四小中学校で行われました。

この事業は、町教育委員会が平成二年度から毎年町出身で中央で活躍している教育者、会社社長、芸術家、公務員などを招いて、母校の小中学校などで講演をしていただいで



尚英中で長堀守弘さんが「アジアと日本」を講演

十一月十五日には尚英中学校で、戦争により東京から疎開し、中学、高校時代を釣師地区で過ごした東証二部上場宝飾メーカー・ナカホリの長堀守弘社長さんが講演を行いました。

長堀さんは「アジアと日本」と題して「戦後アジアの国々が次々と独立した。貧しくとも同じ民族が、同じ理想と夢をもって国づくりを始めた。それが豊かな国をつくる原動力となった」とアジア諸国の現状を語りながら、人間が社会で生きていく上で大切なことは、「知識、態度、技術、習慣」をあげ、「みなさんも大きな夢を描いて生きてほしい」と話し、生徒たちに感銘を与えました。

東北に福田小エンジェルあり

小学生バレーボール 東北大会で準優勝



▲荒町長に喜びの報告をした福田小エンジェルズ

第九回東北小学生バレーボール選手権大会が十一月十一日、十二日の二日間にわたり、秋田市立体育館で行われ、県代表の福田小学校バレーボールチーム福田エンジェルズが見事、準優勝しました。

福田小学校は、全校生百三十七人と町内でも一番小規模校ですが、コンクールやスポーツ、運動などで数多く入賞しています。

福田エンジェルズは、三年生以上の児童で構成する六人制の女子バレーチームで二十三人。平成元年に結成し今年で五年目。三年目に県大会初出場、四年目は東北大会三位と順調に成績を伸ばしてきました。

今年は優勝が期待されました。決勝トーナメントで秋田県第一代表の小友(本荘市)を2-0で下しましたが、決勝戦では宮城県代表第一代表の茂庭台(仙台市)に惜しくも敗れてしまいました。

十一月十六日、森仁一監督らと部長が荒町長に報告。森監督は「子供たちのやる気と指導者たちの熱意が一つになり、それを保護者、学校が上手にバックアップしてくれている。この四つがうまくかみあってここまで来たと思います。バレーボールを通して子供たち一人ひとりに自信を植えつけさせたい」と抱負を語ってくれました。



ふくしま駅伝 総合71位

第6回ふくしま駅伝が11月20日、白河市から福島県庁までの15区間、101・7キロメートルのコースで争われました。新地チームは89チーム中、71位でタイムは6時間16分21秒でした。



初の万国珍宝展開催

かせどりと芸能祭も

町国際交流会の主催による初の万国珍宝展が11月23日、農村環境改善センターで行われました。当日は約1,000人が訪れ象牙の置物やガンダラの仏頭などの珍品を見たあと、町合併40周年を記念したかせどりや芸能祭を楽しみました。



ふるさと産業まつり

第8回ふるさと産業まつりが11月12日、13日の2日間にわたり、新地小学校と町柔剣道場で開催されました。青空市場やジャンボ野菜コンテストや農産物共進会、相馬中核工業団地の未来展などの展示、即売のほか、納豆飯の早食いや縄跳び競争などの多彩なイベントが繰り広げられ、約6,000人の人出でにぎわいました。



あなたの周りの身近な話題をお寄せください。



生涯学習講演会

相馬共火(株)の山田有悟さんが講演。生涯学習の連続講演会として相馬共同火力発電株式会社の山田有悟立地環境部長が「私の画く将来の新地町」と題して11月25日、新地漁協で講演をしました。山田さんは「新地町は自然環境や地理的にも恵まれている。地域との共生を図りながら郷土発展に貢献したい」と述べ、出席した町民約七十人はメモをとるなど熱心に聞き入っていました。



尚英バレーボールクラブが優勝報告

県勤労青少年ホーム交歓会が11月6日、郡山総合体育館で行われ、バレーボールの部で尚英バレーボールクラブが優勝しました。県内の同ホームを利用する若者がスポーツで交流する会、15ホームから男女420人が参加し、交流しました。同クラブは11月9日に荒町長に喜びの報告しました。



埤浜でふれあい輪投げ大会

埤浜地区のふれあい輪投げ大会が11月20日、埤浜公会堂で行われ、埤浜老人クラブと同地区の子供たち約35人が輪投げで交流しました。上位3人に賞品が出るとあって、子供たちも真剣に輪を投げていました。



交通安全総ぐるみ大会

第18回交通安全総ぐるみ大会が11月7日、農村環境改善センターで開かれ、森賢吾さんらを表彰したほか、事故のない町づくりを誓っていました。



県青少年育成啓発キャラバン隊が来町

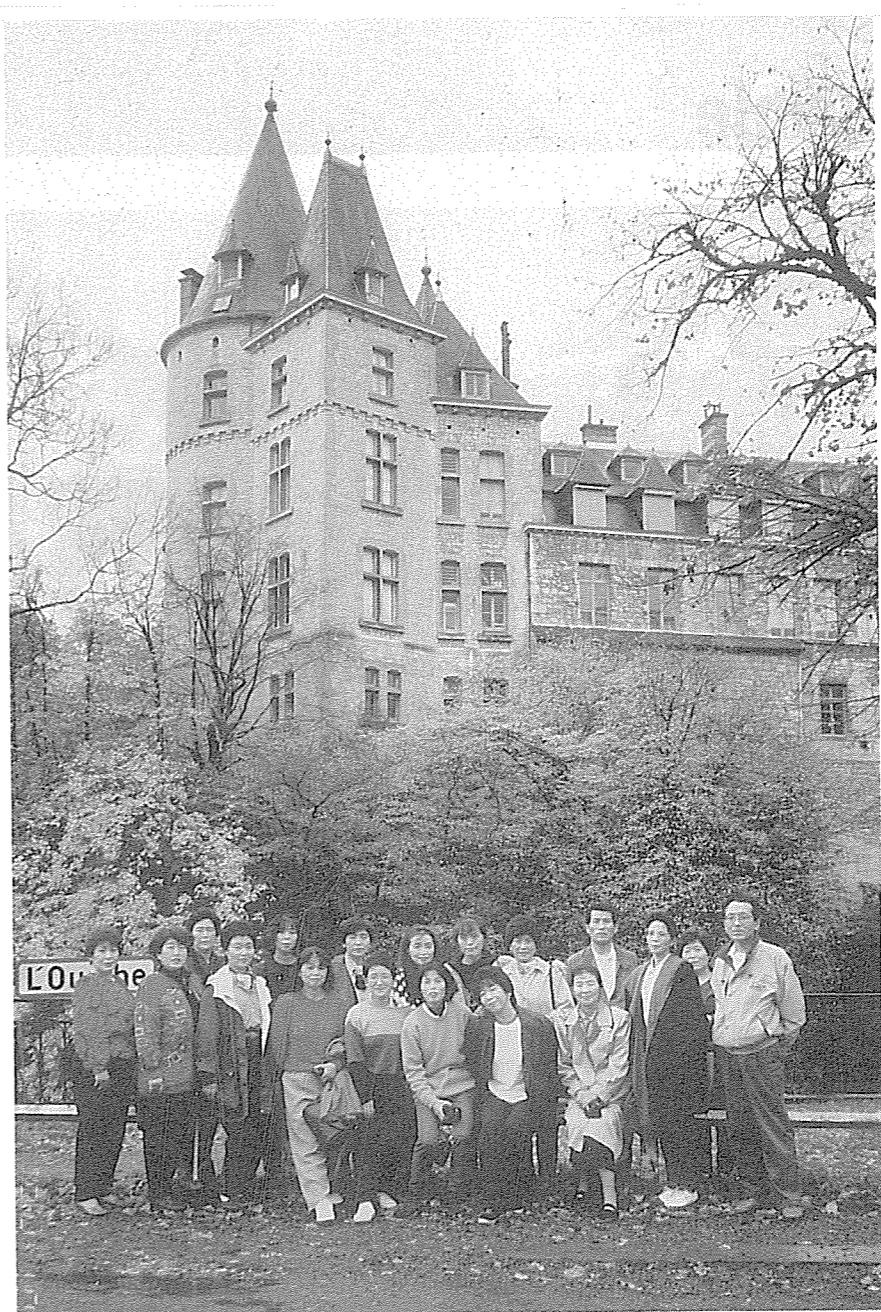
県青少年育成啓発キャラバン隊が11月1日、新地町に訪れ荒町長に知事からのメッセージを伝達しました。同隊は全国青少年健全育成強調月間に合わせ県内各地を訪問しており、柿元隊長が総務庁長官のメッセージを手渡すとともに「青少年の健全育成のため、県民運動に万全を期してほしい」と呼びかけました。



救急法など講習会

町主催による救急法等の講習会が11月1日、農村環境改善センターで行われました。公立相馬総合病院院長横山安那さんの指導で救急車で病院に運ばれるまでの正しい手当や心肺蘇生法の実技などを行い、約35人の女性らが真剣に学びました。

一生忘れない、欧州大陸 ホームステイや村おこし視察



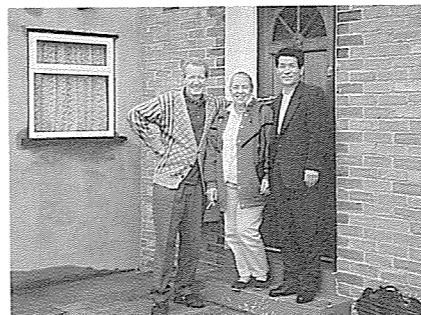
▲デュルビュイの街にて

第4回新地町海外派遣事業として、ヨーロッパを訪れていた「町民の翼」団員十八人が十月二十八日、無事帰国しました。
団長、事務局が男性二人、女性十六人。イギリス、ベルギー、フランスの三カ国を訪問、ホームステイや、過疎をくい止めようと村おこしを進めているベルギーのルデュ村を研修しました。
今回は井上いずみさん(中島)にまとめていただいた記録班日記(抜粋)をご紹介します。

「新地さ

帰っぺー」

十月十八日
ヒースロー空港着。十二時間半の長い空の旅だった。バスでホテルへ。フロントには、ニューヨーク、ロンドン、東京の時間を示す三つの時計がかかっている。ここはヨーロッパなんだと実感。



▲ホームステイ先で村山実団長(右端)

午後十時。外に出てインド料理を食べる。ホテルに帰る道、石造りのビルの上に出たイギリスの月をみんなで見ながらめた。とにかく眠い。
十月十九日
ロンドン市内見学。バックingham宮殿の衛兵交替式にも観客が押し寄せている。
午後は大英博物館。心なしかみんなの口数が少なくなってきたのは、英国の偉大なる歴史の重さを感じたから……ではない。そう、いよいよホームステイなのだ。
緊張も極限に達した、約束の十六時。しかし、駐車場にそれらしい人たちは来ていない。「新地さ帰っぺーはー」。どんより曇ったうら寂しいハロー駅の夕方。心は孤児院でひきとり手待つ少女のようだ。ヨーロッパまで来たというのに。

▲ルデュ村を歩いて研修

「うとうと」で暮らしたい

十月二十日
ホームステイ先で、それぞれが、しとしと雨の朝を迎えた。私たち二人は、ホストファミリーに連れられてショッピングセンターへ。だんだん慣れてきて、イギリスの人になったような気分でスイスイと街を歩いている自分を感じる。
午後四時。帰りの車内ではホームステイ体験談に花が咲く。わずか一日ではあったが、ひとりの研修生として貴重な体験をさせてもらった。何は

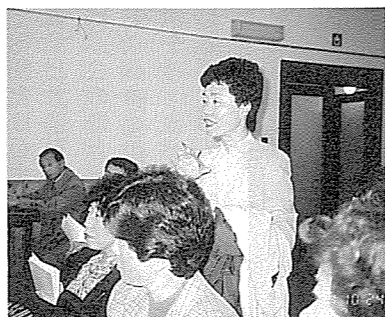
ともあれ、ホームステイは無事に終わった。夜のテムズ川ダイナークルーズが盛り上がったことは言うまでもない。
十月二十一日
今日は移動日。ジェットフォイルでドーバー海峡を渡って、ベルギーへ。イギリスとは違ってかわって、明るい日ざしと青い空の色にほっとする。

ブルージュへ向かう道路沿いに広がる田園風景は、すばらしい。広々とした牧草地に群れる牛や羊。ポプラの間に見える隠れする赤レンガの農家。車内には、シャッターを切る音が絶え間ない。こういうところで暮らしたい。

中世からずっと時間が止まっているようだ

止まっているようだ

十月二十二日
「中世の街並みが運河の水面に照り映える。石畳の道にコトコトと馬車の音。マルクト広場に鐘楼のカリヨン(鐘)がひびいて……」と、これはガイドブックの引用。だって、もう、あまりの美しさに言葉が失ってしまったもので。た



▲ルデュ村で研修(中央が井上いずみさん)

ただ、ため息。「屋根のない美術館」というのも、広告にいつわり無し。とにかく、どっちを向いても絵になってしまいう街。信号なんてない。せまい石畳の道を人も車も馬も通る。中世からずっと時の

流れを止めてしまった街だ。バスで、ベルギーの南部地方へ。朝は晴れていたのに、ルデュ村に着くと、時おりはげしくしぐれる。石造りのが

んじょうような建物が並ぶせいか、人口四百五十人「過疎の村」という感じはしない。もっとも古本屋で村おこしに成功してからは、小学校が二クラスになるほど人口が増えたそう。担当責任者はガイドの遠藤さんを通じて、私た

ちの質問の一つひとつについてねいに答えてくれた。これからルデュ村を国際的に売り出そうとしているこの人の顔は、自信に満ちている。
夕方、デュルビュイ着。
十月二十四日
デュルビュイの街を一時間ばかり歩いて観光。デュナンでは、古城見学。もう、すっかりおとぎの国に迷いこんでしまったかのようにだ。

ナミュールから列車で、いよいよパリ。午後十時着。都会の夜。これまでずっと、比較的治安の良いところで過ごしてきたが、ここではそうはいかないようだ。

ホームレスの

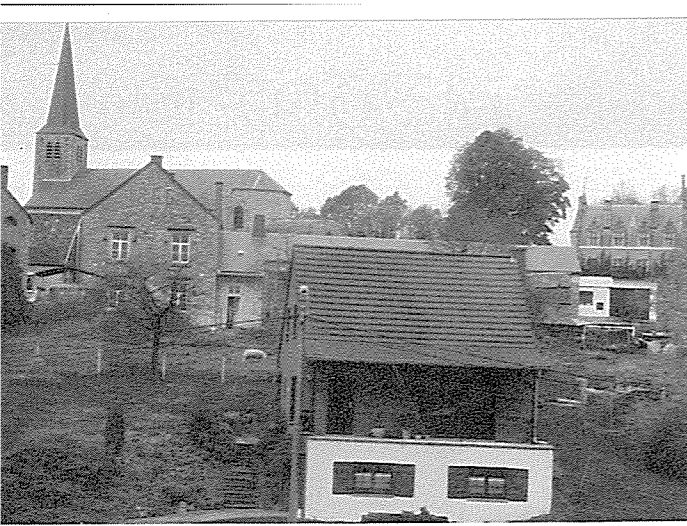
現状に絶句……

十月二十五日
パリ市内見学。ガイドのエディさんは、日本語ペラペラ。冗談までとび出す。
ヨーロッパの町にはゴミが落ちていないとよく言われるが、タバコの吸い殻はポイ捨てだ。パリでは、道路の両端に浄化した下水道の水を流

してあり、それで小さなゴミを片づけてしまう。合理的と云うべきか……。
十月二十六日
ルーブル美術館では、一時間ミロのピナクスとモナリザを見るのがせいっぱい。昼食には、ついにラーメン登場。洋食もそろそろ限界だ。オペラ座の通りではあちこちに小さな子供をひざに抱いたジプシーたちがうずくまっていた。観光客を見るとその子供が寄ってきて手を出す。あどけない顔。政府では、補助金を出してこれらの人々を定住させようとしているそうだが……。



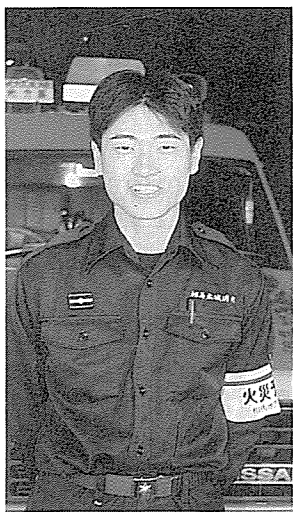
十月二十七日
パリ発十二時四十五分の飛行機で成田へ。満席なので、座席は二、三人ずつバラバラ。近くに北九州の研修団体という女性たち。やはりレポートなど書いている。目をつぶると、十一日間の思い出だぶって、家族の顔が浮かんでくる。日本が近づいたようだ。



▲ブルージュに向かう途中の街並み

ホームステイを前に緊張の極限に達した

頑張るマン



あら 荒 浩喜さん
(20歳・木崎)

スポーツ万能
若き消防士

今回登場の頑張るマンは消防新地分署に勤務する荒浩喜さんです。
「体を動かす仕事のほうが合うと思ったから、でも、頭も使ってますよ(笑)」と消防に入った動機を話す荒さんは、中学時代は野球、高校時代に陸上部のリレー選手になったスポーツ万能選手です。現在は先輩の指導のもと日々の訓練や勤務に励んでいます。

「クールでダンディな男」を自認する(？)荒さんですが、実は同僚が「あの冗談は照れ隠し。根はやさしくてまじめです」と話すとおりとでもシャイでひごろの冗談はそれの裏返しのようなのです。
趣味はドライブで、「ライバル、セナが死んだのは本当に残念」とか。最近では、時計のコレクションを始め、最新型の「オメガ」が欲しいそ

うです。
理想の女性のタイプは「シチューが好物なのでおいしいシチューを作ってくれ、あまりあかぬけていない素朴な人」と話していました。
最後に荒さんは「新地町は火災の少ない良い町。僕も微力ながらがんばりますので、皆さんも火の元にはご注意ください」と消防士らしく締めくくってくれました。

町の名所・名跡⑥

福田十二神楽



昨年、県重要無形文化財に指定された福田十二神楽を舞う子供たち

昨年三月に県の重要無形文化財に指定されたのが、福田諏訪神社に伝わる「福田十二神楽」です。
慶応の末、隣町の宮城県丸森町から伝わったもので、諏訪神社の春秋(五月三日、十一月三日)の例祭に奉納されています。
神楽の継承は一代約七年間で、福田地区の小学三年生から中学一年生ぐらゐまでの長男十二人を選び、十二月から三月までの約百日間の夜間練習を経て神楽師となります。
神楽は扇神子舞、明神舞、幣束舞、四方固舞、恵比寿の舞、剣舞、獅子舞など十二の舞で構成されています。
出雲系の法印神楽の流れをくむ神楽で、宮城県以北に流布していますが、県内では類例が少ないようです。
町内には、埴浜、釣師、今泉、杉目、駒ヶ嶺町、高田などでも神楽があり、それぞれ保存に力をいれています。

町の文芸 短歌

お祝ひのことばと共に津軽焼受くる幸ひ米寿むかへて 門馬篤志
ななかまどの紅の色陽に映えて黒部の峽は秋深みゆく 桜井京子
癒ゆる日をひたに信じて臥す父に履く当てのなき靴踏ひし 荒洋子
豊作と謳はれをるに刈り入れを前に無情の雨降りつつく 桜井英子
早起きし夫は茸をとりに行き秋の味覚を楽しみに待つ 本内時江
豊作の喜び空しく稲の穂を無残に倒し台風去りぬ 小山田つや
「紫蘇扱きは二、三の花の残る時」と教はりし母の明日は命日 荒よしの
手折りきし木犀一枚瓶に挿し花の香りの部屋に漂う 村山けい
空碧く川辺に群れる曼珠沙華若きらのごと華やきて見ゆ 寺島淑子
時超えし夢旅人の心地して鳴沙山にてラクダに乗りぬ 大須賀しづ

ママさん 41



さとう ゆみさん(岡)
♡S47.8.31生れ・血液型B型・おとめ座

子供が大好き 明るいママさん

○お勤めはどちらですか。
☆相馬保育園です。昨年四月から一歳児をもっています。
○保育になったきっかけは。
☆子供が好きだし、小さい時からのあこがれで絶対なろうと思っていました。
○趣味は何ですか。
☆カラオケ。ZARDが好きで、ほとんどの曲は歌えます。

○あなたの性格は。
☆明るくて、お調子もん(笑)。笑顔は絶やしません。
○理想の男性のタイプは。
☆私が優柔不断なので、決断力があって、物事に対してはじめのある人。
○有名人で言うと。
☆柳葉敏郎さん。
○将来の夢は。
☆保育になる夢がなくなって、次はまだ見つかりません。強いて言えばお嫁さんになることかな(笑)。
○町に対して一言。
☆道路が広くなったり、歩道がついたり、年々住みやすくなっていますよ。(ありがとうございます)

おじいさん おばあさん



あら やすはる 保春さん(75歳・中里)

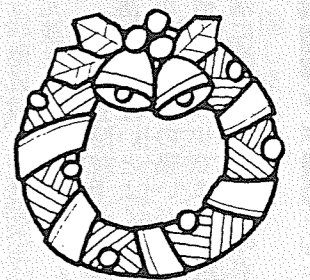
「歴史は必ず繰り返される」と力強く語る荒保春さんは、このほど福田地区の郷土史「口碑福田史」(B6判、六十ページ)を自費出版しました。

もともと昔話が好きだった荒さんは十年ほど前から町史編さんにかかわり、民話、伝承、地名の由来などを調査するうちに歴史に関心を深め、「いまの町の生活を記録する

「口碑福田史」を自費出版 現代を後世に伝えたい

町民のひろば

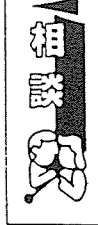
PAGE FOR PEOPLE



ことは、将来、何十年後か何百年後に貴重なものとなるはず」と強く感じ、「だれかがやらなければならぬ」。ならば私がやろう」と決心したそうです。
それから、福田地区の長老を訪ね昔話を聞いたり、石碑を調べたりしながら、古文書に照らし合わせ、少しずつ記録していききました。
荒さんは来年二月初ごろには第二弾「福田の歴史」を出版する予定です。現在は校正もすべて終えはつと一息しているそうです。
荒さんは「昔話や言い伝えはそれ自体が人々が語り継いだ歴史です。これからも大事に伝承していきたい」と話していました。

伝言板

あなたも町民のひろばに登場してみませんか。「広報しんち」では皆さんからのメッセージを待っています。
どんなことでも結構ですので、どしどしご意見をお寄せください。



相談

①交通事故相談
とき：12月1日(木)、15日(木)
午前9時～午後3時
ところ：役場委員会室
相談員
中川威雄さん(相馬市)

②行政相談
とき：12月12日(月)
午前10時～午後3時
ところ：社会福祉協議会事務局
相談員
水品福秋さん(釣師)

③心配ごと相談
とき：12月12日(月)、20日(火)
午前10時～午後3時
ところ：社会福祉協議会日本問
相談員：民生委員、人権擁護委員、区長など

④高齢者無料職業紹介所開設
とき：12月8日(木)
午後1時30分～3時30分
ところ：社会福祉協議会事務局
相談員
村松武光さん(相馬市)

※②～④までの問い合わせは、社会福祉協議会(☎④42111)へ。
※詳しくは相馬消防署新地分署(☎④2117)へ。

消防新地分署



身につけて

みんなで救おう

尊い命

覚えよう応急手当

相馬消防署新地分署では、救急業務の高度化にあわせ応急知識の普及のため、皆さんの申し込みにより正しい応急手当などの講習を行います。講習内容は次のとおりで、修了者には修了書を交付します。講習を希望されるグループ・団体などの方はお気軽に申し込みください。

●普通救命講習
心肺蘇生法(成人)、大出血時の止血法、対象者によっては小児、乳児に対する心肺蘇生法も加えます。

●上級救命講習
心肺蘇生法(成人、小児、乳児)、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手法、搬送法

※詳しくは相馬消防署新地分署(☎④2117)へ。

健康手帳を持参し、みんなで参加を

健康相談会

町では健康相談会を次のとおり行います。

●問い合わせ 役場保健環境課(☎④2111)へ。

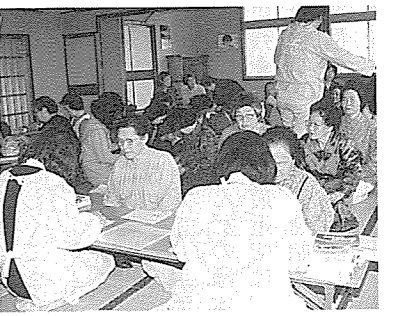
午前の部は主に町保健婦が「骨粗しょう症予防」を、午後の部は公立相馬総合病院、渡辺歯科医院の医師の方が「各種がん」「歯そろうのろう」などの講話を行います。また、町保健婦による血圧測定、健康相談・指導なども行います。皆さんの健康のため、多数参加ください。

※参加の際は健康手帳を持参してください。お持ちでない方には交付します。

日程

12月6日～1月24日
分まで掲載

月日	時間	会場	講師
12月6日(火)	午前9時30分～11時	岡公会堂	「胃がんについて」 公立病院 熊川医師
12月7日(水)	午後1時30分～3時	菅谷公会堂	「子宮がんについて」 公立病院 根元医師
12月8日(木)	午後1時30分～3時	鉄炮町集会所	「歯槽のう漏について」 渡辺歯科医院 渡辺医師
12月9日(金)	午後1時30分～3時	今泉公会堂	「歯槽のう漏について」 渡辺歯科医院 渡辺医師
12月19日(木)	午後1時30分～3時	新地町公会堂	「大腸がんについて」 公立病院 船橋医師
12月24日(火)	午後1時30分～3時	小川公会堂	「大腸がんについて」 公立病院 船橋医師



▲健康は一生の財産。相談会で自分の健康を確かめてください

お知らせ

新地町役場/〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 TEL0244(62)2111・FAX0244(62)3194

『成分献血』にご協力

皆さんの愛を「献血」という形で表してみませんか。
●日時 12月13日(火)
午前10時～正午
午後1時～4時
●場所 農村環境改善センター
●問い合わせ 役場保健環境課(☎④2111)へ。



▲今年最後の献血にご協力

交通

12月10日～1月7日
年末年始の交通事故防止
県民総ぐるみ運動

例年この時期は、帰省や初詣で・行楽などによる交通の混雑・飲酒機会の増加、早い日没及び路面の積雪・凍結など交通環境が悪化し、交通事故が多発する傾向にあります。交通ルールとマナーを守り、ゆとりを持って安全運転を心掛けてください。

統計調査

工業統計調査にご協力ください

12月31日現在で、平成6年工業統計調査を行います。この調査は製造業を営む事



目黒俊昌さん(作田)



小野二郎さん(小川)

業所の1年間の製造活動を調査するために毎年全国一斉に行われている大切な統計調査です。
今年に従業者3人以上(特定業種は3人以下も対象)の全ての製造事業所が対象となります。
年末でご多忙中とは存じますが、12月下旬に次の調査員が伺いますのでご協力をお願いします。
*調査員

あなたの善意が生きています

歳末助け合い運動

12月1日から「歳末助け合い運動」が行われます。この運動は町内の寝たきり老人やひとり暮らし老人、母子・父子世帯、長期療養療養や障害に悩む方々が明るいお正月を迎えられるよう、地域ぐるみで援助するものです。昨年は、皆さんから120万6,443円のご寄付をいただき、ありがとうございます。今年も皆さんの温かいお志で、1人でも多くの方々にお贈りすることができま



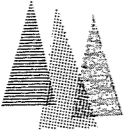
▲今年の援助計画を決めた区長、民生委員合同会議

ご協力をお願いします。問い合わせ 社会福祉協議会(☎④42113)へ。

県民手帳は

いかがですか

平成7年度福島県民手帳は、
①使いやすい月間予定表と日記編。
②日常生活に役立つ便覧、各種相談窓口、県庁・県出先機関一覧、全国宿泊保養、県内郵便番号など
③最新の統計資料として、全国から見た福島県、都道府県別一覧、県内市町村一覧などを集録しています。
●価格 一冊 500円
購入を希望する方は、各行政区長さんを通して、役場企画振興課(☎④2111)へお申し込みください。



町長にリフレッシュ・デー

相馬地方市町村会では、市町村長の健康維持のため、毎月第1日曜日と第3日曜日をリフレッシュ・デー(休養日)としました。趣旨をご理解の上、町長に対して行事への案内などは控えていただくようご協力をお願いします。

国民年金の保険料は納めましたか？

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。国民年金では老齢になり、思わぬ事故で障害になったり、あるいは夫を亡くした時などに年金が支給されますが、保険料を一定期間納めていないと、保険料の納付の免除を受けていなければ、年金が受けられない場合があります。また、受給資格期間を満たしていても未納期間があると、その分年金額が少なくなり、未納とならないように気を付けてください。保険料は納期限を過ぎても2年間はさかのぼって納められますが、2年を過ぎると時効によって納められなくなり、納め忘れたら、納め忘れないようにすることが大切です。もし納め忘れの保険料があればすぐに納めましょう。

県産業別最低賃金が改正に

福島県の最低賃金(地域別最賃)が、10月1日より改正されました。定められた金額以下の賃金で労働者を雇用してはならないことになっていきます。

●1日 4,362円
●時給 546円

この最低賃金は、県内の事業所で雇用されるすべての労働者(パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用されます。

●県内の産業別最低賃金一覧表●

最低賃金の件名	最低賃金額(円)	
	1日	1時間
福島県最低賃金	4,362	546
電気機械器具製造業最低賃金	4,773	597
非鉄金属製造業最低賃金	5,100	638
輸送用機械器具製造業最低賃金	5,048	632
精密機械器具製造業最低賃金(医療用機械器具・医療用品製造業・医療用品製造業・光学機械器具・レンズ製造業は除く)	5,000	625
自動車小売業最低賃金	4,992	624

詳しいご照会、相談は福島労働基準局賃金課(☎0245⑧4600)へ。

スナック



広報にあなたの写真が載っていたらご連絡ください。さしあげます。



県立看護学校生

県立の看護学校等では学生を募集しています。募集要項などを希望する方を募集しています。

『お詫びと訂正』

先月号での『町の樹々たち』で紹介した福田小学校のセコイヤについて、植えた人を荒善治先生と紹介しましたが、地区の方から連絡があり、提供されたのは沢口の鈴木博(当主、重雄)さんであることが判りました。お詫びして訂正いたします。

エネルギーの新しい火が燃える町 しんち



面積45.95km² 東西9.5km 南北7.4km

町の木/マツ 町の花/サクラ
町の鳥/キジ 町の魚/カレイ

戸籍の窓

▷町の人口と世帯

11月1日現在()内は前月比

人口	9,076人	(-3)
男	4,453人	(-3)
女	4,623人	(±0)
世帯数	2,290世帯	(+4)

10/21~11/20届出

▷出生(届出は14日以内に)

(子供)	(親)	(地区)
後藤 希美	佐藤 文宏	富倉
後藤 勇	加藤 英喜	杉目
麻智 奈美	西館 智加男	城内
智 樹	荒 守 広	小川
未 来	横山 武広	明地
佳 祐	寺島 裕明	鉄炮町
	佐藤 勝夫	小川

▷死亡(届出は7日以内に)

(死亡者)	(年齢)	(地区)
伊藤 善信	63歳	釣師
小泉 ハナ	94歳	新地町
目黒 正義	91歳	木崎
星 章三	56歳	埴浜
早川 末喜	93歳	岡
武沢 キクエ	98歳	釣師
白石 吉之	83歳	今神干拓
森 テルイ	67歳	釣師
森 忠雄	84歳	富倉
小野 せつよ	86歳	大戸浜
後藤 マサ子	57歳	新町

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

【今月の納税】

固定資産税	第4期
国民健康保険税	第5期
国民年金	12月分
水道料	第1~6行政区

母と子の健康



●母子手帳持参。●3ヵ月児健康審査は、神経芽細胞腫の検査用紙を配布しますので必ず受診して下さい。●該当する健診日に受けられなかった方は、翌月の健診日に受けましょう。

健康審査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべくはやく	12/16(金)	9時~10時	新地町役場
		1/6(金)		
		1/20(金)		
三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)	I期: 生後24か月~48か月の間に、3回接種 II期: 1期終了後1年~1年半の間に1回接種(生後66か月以内)	12/16(金)	12時30分~13時	新地町母子健康センター
		1/6(金)		
3ヵ月児健診	平成6年9月~10月生	1/20(金)	13時~13時15分	環境改善センター
3歳児健診	平成3年9月~12月生	1/23(月)	12時30分~12時45分	

税豆知識

年末調整の仕組みと手続き

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算



- するもので、サラリーマンにとって確定申告に代わる大切な手続きです。
- 年末調整の必要な人
 - ①扶養親族に異動のあった人
 - ②各種保険料の控除を受けようとする人
 - ③配偶者控除を受けようとする人
- 勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。詳しくは相馬税務署(☎3111)へ。

こちら編集室

▼多くの人に支えられて、広報紙は出来あがる。すべての出稿を終え、今そう実感している。三年前、青少年健全育成町民会議で発表した当時小学六年生だった斎藤秀くん(母はホームヘルパー)は衝撃的だった。広報でも全文を掲載したが、福祉に携わる人たちの努力や悩み、一端をかき見たら思っていた。いつか自分なりに福祉を書いてみたいと思った。▼二年前、町にも特養ホームができ、デイサービスなどに車いすの方も多く見られるようになり、障害をもつ人に対する街の意識も変わってきたと思う。「障害福祉は単に障害をもつ人のためだけではない、町の文化を高めていくのだ」と思った。▼最後になりましたが、高橋政孝さんご家族に大変お世話になりました。ありがとうございました。(M.S)

町長日記 荒和英

- 24日 交通安全ゲートボール大会、県土地連役員会、北海道伊達市職員研修団懇親会
- 25日 公立相馬総合病院載帽式
- 26日 暴力追放相馬大会
- 30日 中里芸能大会
- 31日 相馬地方広域企業大蔵大臣陳情
- 11月 生涯学習推進会議
- 1日 町功労者表彰式
- 2日 かんぽ健康増進ゲートボール大会
- 4日 菅谷地区運動会、村井流新竜会発表会
- 6日 交通安全総ぐるみ大会
- 7日 産業建設常任委員会
- 9日 県農業会議常任委員会
- 10日 産業まつり、健康まつり
- 12日 公立相馬総合病院火災訓練
- 15日 相馬地域道路懇談会
- 18日 福田小学校学芸会
- 20日

地区の発展を見守る

二羽渡神社のアスナロ

小川地区のほぼ中央に二羽渡神社があり、スギを中心とした小さな森が社殿を覆っています。

その中に、存在を誇示するかの様に一本の大きな木が立っています。アスナロです。この地方では余り見かけない樹種で、このような立派な木

は珍しいと言えるでしょう。

この木の下には、有名な『あんこ地蔵』もあり、毎年夏になると地区を上げての盆踊りが催されにぎわいます。

近年は、広場をはじめ付近一帯を小公園として整備が進められ地区の人々の憩いの場となっています。

アスナロの名には、「明日はヒノキになろう」の意が込められており、希望を象徴する木です。
この木も、百年以上も前から、地区の発展を見守りつつ、自らも成長を続けているのです。

翌松のかすかに揺るる

刈田風

渭城

〔メモ〕ヒノキ科、アスナロ属、東西南部から九州にかけて自生する。材は建築材、器具に利用され、庭木としても利用される。



樹種名	アスナロ
所在地	新地町小川字二羽渡46
所有者	二羽渡神社
根周り	2.68メートル
胸周り	2.09メートル
高さ	約25メートル



12月18日～
1月15日分まで掲載

月 日	病院名	電 話
12月18日(日)	荒 病 院	☎36 2 7 3 2
23日(金)	米村胃腸科医院	☎35 2 8 8 0
25日(日)	吉 川 医 院	☎35 2 5 5 3
31日(土)	金 子 医 院	☎35 3 2 0 2
1月1日(日)	大 石 医 院	☎35 3 4 5 1
2日(月)	井 口 医 院	☎36 2 4 2 2
3日(火)	荒 病 院	☎36 2 7 3 2
8日(日)	渡 部 内 科	☎36 7 2 2 2
15日(日)	大 井 医 院	☎35 2 6 2 7



吉村菜央ちゃん
(2歳2カ月・埼玉)

「お兄ちゃんと二人兄妹のせいか、活発で男まさりです。もっとかわい服装をさせたのですが、スカートは気に入らず、ほとんどズボン。泥んこ遊びが大好きで、セーラームーンよりアンパンマンが大好きに入ります。いつまでも兄妹仲良く元気に育ってほしいですね」
ママの久美子さん

